

科目	応用倫理学 (Applied Ethics)		
担当教員	手代木 陽		
対象学年等	応用化学専攻・2年・前期・選択・2単位		
学習・教育目標	工学複合プログラム	C3(50%) D1(50%)	JABEE基準1(1) (a),(b)
授業の概要と方針	現代の科学技術の諸問題には科学的解決のみならず、社会的合意が必要な倫理的問題も含まれている。この講義では生命倫理・環境倫理・情報倫理の問題を通してこうした問題の所在を理解し、自ら解決策を考える訓練をする。		
	到達目標	達成度	到達目標毎の評価方法と基準
1	【C3】新しい科学技術の社会的応用には倫理的問題の解決が不可避であることを理解する。		生命倫理・環境倫理・情報倫理の問題を正しく理解できているか、期末試験で評価する。
2	【D1】科学技術の倫理的問題を自分の生き方の問題として考え、自分の意見を矛盾なく展開できる。		生命倫理・環境倫理・情報倫理の問題について、自分の意見を矛盾なく展開できるか、期末試験および毎回授業で課すレポートで評価する。
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
総合評価	期末試験成績50%、毎回授業で課すレポート50%。それ以外に自主的に提出されたレポートについては、これらの成績にさらに適宜加点する。		
テキスト	なし		
参考書	「人間論の21世紀的課題 応用倫理学の試練」：石崎・山内編（ナカニシヤ出版）		
関連科目			
履修上の注意事項	なし		

